

子どもお仕事参観日 Vol.1 社会福祉法人ゆたか会

子 ども お 仕 事 参 観 日

『子どもお仕事参観日』とは、パパ・ママが普段どんな職場で働いているか子どもたちが見学する日。子どもと職場の人たちが交流することで、それぞれに大事な家族がいるんだ、お互い助け合っていこう、と職場の皆さんに再認識してもらう特別な 1 日です。

今回の訪問先はこちら！



社会福祉法人ゆたか会

ドリームカンパニーあゆみ

(秋田市)

一般企業で就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、一般就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う施設です。

今回の参加者はこちら！

5人のパパ・ママのお子さん、9人です。

りくくん（8）

れいなさん（12）

めめさん（12）

らみさん（11）

のあくん（7）

ななこさん（13）

けいすけくん（7）

ひろあきくん（15）

みきさん（9）

『子どもお仕事参観日』
はじまります！

夏休みのはじめにパパ・ママの職場へ！

子どもたち待望の夏休みが始まりました。普段は学校で勉強している時間ですが、今日は夏休み。お出かけをします。向かった先はパパやママの職場です！

子どもたちを出迎えたのは照井施設長とスタッフさん、それからたくさんの施設利用者さんでした。

これから一日の作業を始めるので、その前に看護師のママが利用者さんとスタッフさんの体温、血圧を測定します。施設長の体温、血圧をチェックするママを見る子どもたちの表情は興味深げ。

事務室では、事務作業をこなすパパの仕事ぶりを神妙な顔で見えています。



定刻になると、施設の日課である朝の会が多目的室で始まりました。

皆で今日の役割の確認をした後、子どもたちが自己紹介をします。

少し緊張した面持ちで一人ずつお話をする子どもたちを、スタッフさんや利用者さんが暖かい拍手で歓迎してくれました。



朝の会の後、パパの一人が施設概要を、照井施設長が「子どもお仕事参観日」の概要をお話してくれました。社会福祉法人ゆたか会が運営する施設のひとつであるドリームカンパニーあゆみでは、障害のある方が地域の中で働くことの手助けをしています。

ただ、子どもたちにはぴんとこないところもあるよう…

今日の「子どもお仕事参観日」で、どんなことをしているか実際に見ていきましょうね！



色々な作業があるんだね

まず、子どもたちはそれぞれのパパ・ママと一緒に作業を見学・体験することになりました。施設ではメール便の配達準備や空き缶つぶし、割り箸の袋詰めなど色々な作業を行っています。





今日は月に一度の血圧、体温測定の日です。
作業と並行して、利用者さんの体調チェックが進みます。
結果を記入したり、利用者さんへ声かけをしたり。看護師のママのお手伝いをして大活躍！



見学や体験の合間には、照井施設長が施設内を案内してくれました。
子どもたちはひとつひとつの作業の説明に耳を傾けながら、パパ・ママがスタッフさんや利用者さんと一緒にお仕事に励む姿をじっくりと眺めます。



スタッフさんも子どもたちが見学に訪れると、にこやかにご挨拶！
子どもたちに何年生？と尋ねたり、担当するお仕事のお話をしたりしてくれました。



施設見学中に子どもたちの目にとまったのが、一枚のポスターでした。
一見普通のポスターですが、よく見ると…なんと施設で活動する利用者さんたちの写真を集めて
絵にしたモザイクアート！
思わぬ大作に、子どもたちから、すごーい！と声が上がりました。



モザイクアートのほかにも、施設内はたくさんの飾りで明るい雰囲気でした。
一番多かったのが、さをり織りの作品です。
今回の体験メニューにはありませんでしたが、ドリームカンパニーあゆみでは、さをり織りの織物からポーチや壁飾り、かわいいストラップなどの製品をつくっています。
作業をしている利用者さんの表情は、真剣そのものでした。



おやつをつくってみよう！

一通りの見学と体験が終わって子どもたちが多目的室に戻ると、机の上にボウルやシートなどが用意されていました。

次は施設の製品のひとつである、おからクッキーづくりの体験です。

できたクッキーは持ち帰りできます、という作業担当のパパの言葉に、子どもたちも俄然気合いが入ります。



あらかじめ用意されていた生地が配られ、子どもたちが型抜きをはじめますが…これがなかなか難しい！おからのサクサク感を生かしたクッキーの生地は崩れやすく、うまくできたかな？と思ったところで割れてしまったりもします。



難しいところはパパやママ、スタッフさんがお助け！
コツをつかんで作業を進める子どもたちを、皆がにこにこしながら見守ります。





型抜きが終わったクッキーを調理室にあるオーブンに入れるのは、パパのお仕事。
調理室には特定の人以外は立ち入りできないので、子どもたちはわくわくしながら焼き上がりを待ちます。

ほかほかのクッキーを袋詰めして、できあがり！
一生懸命つくったクッキー、誰にあげるのかな？



パパやママへのメッセージ

見学や体験など、盛りだくさんの「子どもお仕事参観日」もいよいよ終盤です。
パパやママへのメッセージを考える子どもたちは、初めは何を書こうか悩んでいましたが、段々と筆が乗ってきます。

終わりましたか？という照井施設長の質問に、まだもうちょっと！という声が返りました。



最後はメッセージをひとりずつ発表します。

自分の仕事を体験し、施設での一日にふれた子どもたちからのメッセージに、パパもママもなんだか感慨深そうです。



にっこり笑顔で記念写真！

子どもも大人も、皆ですてきな体験ができた『子どもお仕事参観日』でした。



『子どもお仕事参観日』を終えて

<パパ・ママから>

- 同世代の同僚もいるため相談することができ心強いですね。また、学校行事などで休みを取りやすい職場。休みがかぶっていても、サポートしてくれ休むことができるのでありがたいです。
- 参観日は親、子どもどちらにとっても良い経験。障害者支援施設という口で言ってもなかなか理解しづらい職場ですが、参加することで少しは理解できたかと思います。
- 参加するにあたっては子どもも張り切って、バインダーを購入していました！
- クッキーづくり体験など、子どもが楽しめる企画を考えてもらいました。子どもは大満足で、つくったクッキーを祖父母にあげていました。

<職場の方から>

- 子どもたちの学校行事などについて、従業員との話題にのぼることがあります。休暇の申請が重なるなどしたときは、日常の業務に支障が出ないように施設内で調整し希望者が休暇を取得できるよう努めています。
- 子どもたちが親が働くところを目を輝かせて見学していたのはうれしかったですし、スタッフが実施に協力的で良かったと思っています。参観日実施により、ますます仕事と子育てが両立しやすい職場になると感じています。



社会福祉法人ゆたか会さん ありがとうございました！

秋田県は、仕事と育児・家庭を両立しやすい職場づくりを応援しています！

詳しくは、秋田県企画振興部人口問題対策課まで Tel：018-860-1249

こちらもお覧ください。

○秋田県少子化対策総合ウェブサイト ベビーウェーブ・アクション

<http://common3.pref.akita.lg.jp/babywave/>

○ベビーウェーブ・アクション Facebook

<https://www.facebook.com/babywave>